

第29回 一関地区広域行政組合
一般廃棄物処理施設整備検討委員会

次 第

日時 令和4年5月27日（金）

午前10時から

場所 一関市役所3階 特別会議室

1 開 会

2 協 議

(1) 余熱活用について （調整段階のため、資料は非公表）

(2) 新処理施設の事業方式について

(3) リサイクル施設の基本的な考え方について （調整段階のため、資料は非公表）

3 そ の 他

4 閉 会

新処理施設の事業方式について

新処理施設の事業方式については、令和3年度に実施したPFI導入可能性調査において、「DBO」による方式が適しているとの調査報告結果が示されており、施設整備基本計画においては調査結果を詳細に検証して決定するものとしている。

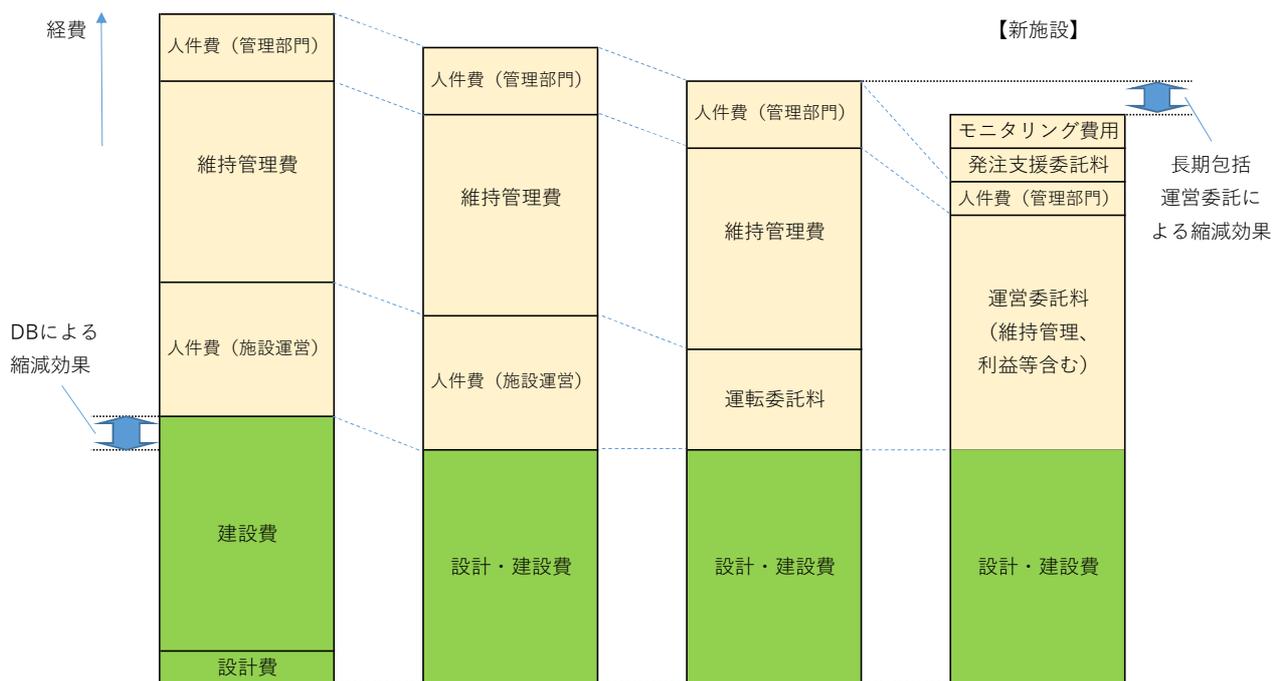
事業方式については、令和4年度中から仕様の作成及び事業者選定の準備に入る計画としており、早期の方針決定が必要となっている。

本件では、事業方式の違いについて検証したところ、施設整備の発注に関しては、経費削減効果が高いDB（デザインビルド＝設計施工一括発注）による方式が優位であることから、運営方法決定に先行して建設整備についてDBとして進めることとした。

なお、運営方法については、引き続き人員体制や維持管理について検証を行い、検討委員会において確認するものとする。

また、リサイクル施設整備に関しても、新処理施設敷地内に統合整備するものとしていることから、同様の考え方で整備を進めるものとする。

公設公営・DBOの場合の経費イメージ図



事業方式

建設費

運営費

○要求水準書とは

